



**2023年6月17日
第50回 定時株主総会
事業報告**

ぴあ株式会社
PIA CORPORATION

[1] 2022年度 業績の概要

1)決算のポイント

2)業績(短信ダイジェスト)

[2] 2023年度 業績予想及び配当予想

[3] 3ヶ年中期経営計画(2023～2025年度)

[4] 2022年度の主な取り組み



1) 決算のポイント

- ・ 集客エンタテインメント市場は、コロナ禍の収束に伴い復調。エンタメ活動への反動消費もあり、音楽公演の全国ツアーや大規模フェス、スポーツ大会などの大型イベントが続々開催。
- ・ 営業利益、経常利益とも、3年ぶりに通期での黒字化を達成。
- ・ 公演規模の拡大、単価の上昇等で、チケット取扱高は2,000億円規模となり、過去最高だった2018年度の1,800億円を上回った。
「ぴあアリーナMM」の稼働率も復調、出版のヒット商品もあり、公表済みの業績予想通りに着地。当期利益も過去最高を計上。

2) 業績(短信ダイジェスト) ① 前年比較

【連結】 前年比較		[単位:百万円]	
	前年度	2022年度	前年比
売上高	25,829	32,763	+ 6,934
営業利益	△ 833	820	+ 1,653
経常利益	△ 845	600	+ 1,445
当期利益	△ 1,122	1,415	+ 2,537

2) 業績(短信ダイジェスト) ② 連結損益計算書(要約)

[単位:百万円]

	【前年度】	【2022年度】	【前年度差】
→ 売上高	25,829	32,763	+6,934
売上原価	17,483	20,811	+3,328
差引売上総利益	8,345	11,952	+3,607
販管費	9,179	11,132	+1,953
→ 営業利益	△833	820	+1,653
営業外収益	513	197	△316
営業外費用	525	416	△109
→ 経常利益	△845	600	+1,445
特別利益	—	678	+678
特別損失	471	29	△442
税金等調整前当期純利益	△1,317	1,250	+2,567
法人税等合計及び非支配株主利益	△193	△165	+28
→ 当期利益	△1,122	1,415	+2,537

2) 業績(短信ダイジェスト) ③ 連結貸借対照表(要約)



[単位:百万円]

資産の部		
	【前年度】	【2022年度】
現預金	24,361	26,356
売掛金	15,716	21,612
商品等	78	77
その他	2,697	3,315
流動資産：前年度比8,508増加		
流動資産	42,852	51,360
有形固定	12,258	12,660
無形固定	5,537	6,143
投資その他	3,949	4,634
固定資産：前年度比1,692増加		
固定資産	21,746	23,438
資産合計	64,598	74,798

負債の部		
	【前年度】	【2022年度】
流動負債：前年度比17,702増加		
流動負債	38,732	56,434
固定負債	23,058	14,009
負債合計	61,791	70,443
純資産の部		
資本金	5,942	5,962
資本剰余金	2,105	2,128
利益剰余金	△4,999	△3,583
自己株式	△216	△166
他包括利益	△23	10
非支配株主持分	—	3
純資産合計	2,807	4,354
負債純資産合計	64,598	74,798



[単位:百万円]

	【前年】	【2022年度】	【前年度比】
税引き前当期利益	△1,317	1,250	+2,567
減価償却費	2,607	2,354	△253
売上債権の増減	△5,266	△5,891	△625
仕入債務の増減	13,143	11,565	△1,578
その他	3,574	384	△3,190
利息・税金等	318	△307	△625
営業キャッシュ・フロー	13,058	9,355	△3,703
無形固定資産の取得	△2,452	△2,233	+219
その他	△249	△1,331	△1,082
投資キャッシュ・フロー	△2,701	△3,564	△863
財務キャッシュ・フロー	△1,132	△3,797	△2,665
キャッシュの増減	9,225	1,994	△7,231
→ 現預金残高	24,361	26,356	+1,995

[2] 2023年度 業績予想及び配当について

- ・ 2022年度は営業損益の黒字転換を実現するも、コロナ禍による2期連続の最終損益赤字による累損の解消には至らず、大変遺憾ながら当期配当は無配とさせていただきます。
- ・ 2023年度の業績予想は、売上高330億円(新基準)、営業利益12億円、経常利益10億円、当期利益9億円。
- ・ 今後、基幹事業および新たな事業によって収益基盤を強化し、中期経営計画(2023～2025年度)期間中に累損の解消と、復配の実現を目指します。

◆さらなる“変身”に向けて、3ヶ年の中期経営計画を発表

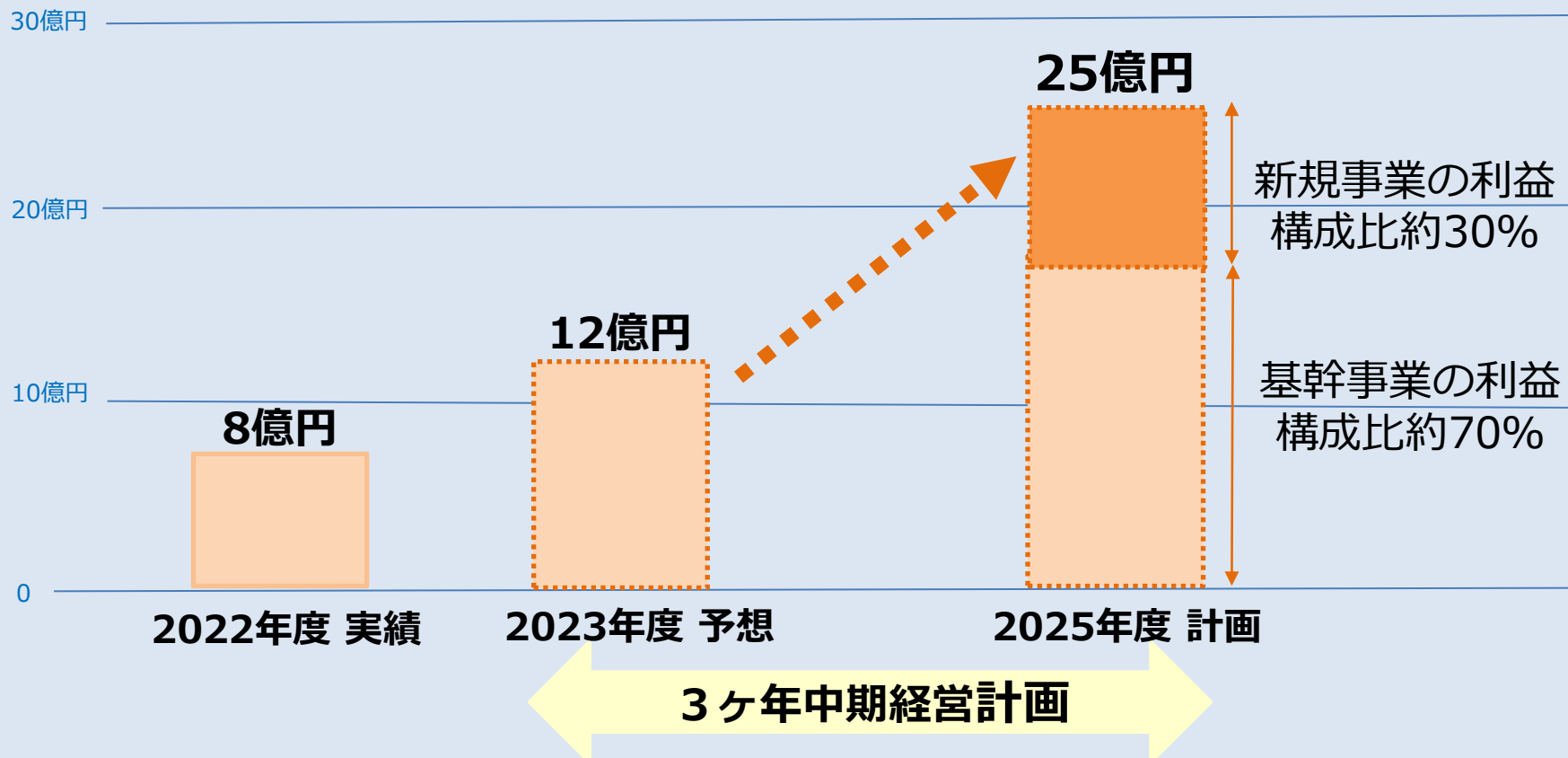
- ・ 創業50周年を経て、2023～2025年度の、3ヶ年の中期経営計画を発表。
- ・ 基幹事業であるチケット流通、興行制作、会場事業の拡大と並行し、
 - ▶ グローバルイベント(万博等の国際イベントのチケットティング業務)
 - ▶ DMS(デジタルメディア・マーケティングサービス事業)
 - ▶ ホスピタリティ事業(VIP向け高付加価値体験パッケージの販売)等の新事業を着実に成長させ、グループ収益の最大化を図る。
- ・ 同時に、構造改革と経営基盤の強化を進め、最終年度の営業利益25億円の達成を目指す。

[3]中期経営計画(2023～2025年度)の骨子



中期経営計画の最終年度(2025年度)の営業利益は、2023年度から約倍増の25億円を目指す。基幹事業で7割、新規事業3割の利益構成を想定し、2025年度中には累損解消を見込む。

【営業利益目標の推移】



[4]2022年度の主な取り組み

～ぴあ創業50周年プロジェクト～



◆創業50周年感謝イベントを「ぴあアリーナMM」で開催（2022年11月17日）

株主様とご家族様約4千名をはじめ、お取引先や従業員とその家族など、約8千名をご招待。



矢内より感謝のご挨拶



創業50周年記念ロゴマーク



会場となつたぴあアリーナMM



川淵三郎さんより祝辞



ゲストの小六禮次郎さん、倍賞千恵子さん



ゲストの布袋寅泰さん

[4]2022年度の主な取り組み

～ぴあ創業50周年プロジェクト～



◆創業50周年記念ムービーを公開



◆創業者・矢内廣初の自伝 『岩は、動く。』 を発刊 (当社刊2,200円+税)



◆創業50周年記念イベントを、全国各地で多数開催



宝塚ミュージカル
50周年記念貸切公演
【兵庫】



プロ野球「ぴあDAY」
ホークスvsライオンズ
【福岡】



Jリーグ「ぴあday」
FC東京 vs 横浜F・マリ
ノス【東京】



ぴあ50周年記念
MUSIC COMPLEX
【横浜】

[4]2022年度の主な取り組み

～主催・協賛イベント～



◆様々なジャンルで、主催・出資イベントを多数開催

ぴあのバリューチェーンや企画制作ノウハウを生かした、主催公演や出資イベントが好評



浦和レッズ&パンのフェス
in埼玉スタジアム(埼玉)



浅田真央アイスショー
「BEYOND」(全国)



tvk・ぴあ 50周年記念LIVE
(ぴあアリーナ)



Designed by SwimmyDesignLab

横浜 MUSIC HARBOR
2022 クリスマス(横浜)



(c)2022 METROCK All Rights Reserved

METROPOLITAN
ROCK FESTIVAL 2022
(東京・大阪)



©日刊スポーツ新聞社

神宮外苑花火大会
(東京)



Photo : 深野輝美

「ぴあフェス」PIA
MUSIC COMPLEX
2022(東京)



ぴあ演劇学校(東京)

[4]2022年度の主な取り組み

～メディアコンテンツ展開～



◆様々なジャンルで多数のメディアを刊行、大ベストセラーも誕生



マルチタレント・厚切りジェイソン氏が、自身の投資術をわかりやすくレクチャーした書籍。



[4]2022年度の主な取り組み

～業務・資本提携による連携の強化～



◆朝日新聞との協業で「ぴあ朝日ネクストスコープ株式会社(PANX)」 を設立、新たな広告事業をスタート

ぴあ



朝日新聞社

会員ID数
約1,750万人
チケット販売数
約7,500万枚/年
データ蓄積
約1.4億アクセス

会員ID数
約550万人
WEB訪問者
約5,000万UB/月
運営メディア数
30媒体以上



ぴあ朝日ネクストスコープ株式会社

PANX
PIA ASAHI Next Scope

[4]2022年度の主な取り組み

～ホスピタリティ事業への参入～



◆ スイス・DAIMANI社との業務資本提携により ホスピタリティ事業の合併会社を設立

日本・アジアの集客エンタメ業界に
おける「ホスピタリティ・サービス」
事業に本格参入。

DAIMANI社は
欧米で広くVIP向け
ホスピタリティ事業
を展開中



◆ 「ラグビー リーグワン決勝」公式ホスピタリティチケットの販売を スタート

5月20日の決勝戦で、3種類のパッケージチ
ケットを発売、専用VIPラウンジでの飲食に
加え、ワンランク上の特別な観戦体験を演出。



[4]2022年度の主な取り組み

～グローバル展開～

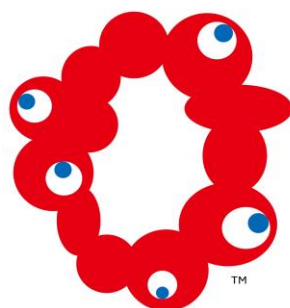


- ◆「2002サッカーW杯・日韓大会」
「2019ラグビーW杯・日本大会」
「東京2020オリンピック・パラリンピック」
等の業務受託経験を踏まえ、グローバル事業
の専任組織をスタート



- ◆2025年の大阪・関西万博
のチケットング業務全般
を受託

W杯やオリンピックに続き、大阪
万博のチケット販売も当社で受託。



OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO
2025

©Expo 2025

- ◆大人気のタイ俳優イベントを続々開催

タイの人気俳優のファンクラブイベント(2021年)を
皮切りに、ぴあアリーナMMでイベントを次々と主催。



[4]2022年度の主な取り組み

～持続可能な社会に向けて ①ぴあ総研～



◆「ぴあ総研シンポジウム」をスタート、5月には第2回目を開催 エンタテインメントの必要性を、SDGs 18番目の目標として提言

ぴあ総研主催シンポジウム

文化芸術・集客エンタメは、 人々と社会をどう豊かにできるのか

～文化芸術・集客エンタメは、SDGs18番目の目標になりうるか？～

01 本シンポジウムの趣旨および、
ぴあ総研年間活動報告

- ・ぴあ総研&日本政策投資銀行による
共同研究の進捗
- ・ぴあ総研&香川大学による
共同研究の取り組みほか

02 基調講演Ⅰ
SDGsの18番目に
文化芸術、集客エンタメに関する新項目を

03 基調講演Ⅱ
文化芸術・集客エンタメの
本質的価値とは何か
～脳科学の視点から～

04 パネルディスカッション
文化芸術・集客エンタメは、SDGs18番目の目標になりうるか？

18 文化芸術・エンタテインメント・スポーツで心豊かな暮らしと社会を

SDGsの17項目には、「文化芸術」に関する目標が直接的に盛り込まれていません。ぴあ総研では、世界の多様な「文化芸術」の共存・共生こそが、サステナビリティの根幹をなすという考えに基づき、18番目の目標として「文化芸術をはじめとして、エンタテインメント、スポーツの必要性」を掲げ、心豊かに暮らしと社会のために、あらゆる人々の「文化」的価値を強化・支援することを提言します。それが、人々の相互理解やコミュニケーションを深め、ダイバーシティやインクルーシブな社会構築、世界平和への共感の促進に資するものと考えているからです。本シンポジウムが、その議論の道場となれば幸いです。

パネリスト

相橋貴氏
タレント・タレント

村井清氏
日本プロレスリング・総務・総務

北川フラム氏
アートディレクター

星中清智子氏
マンガ家、大阪府立大学教授

野村高家氏
タレント

佐井裕子
日本放送協会放送文化研究所長



第2回ぴあ総研主催シンポジウム
(5月31日／丸ビルホールにて開催)

[4]2022年度の主な取り組み

～持続可能な社会に向けて ②PFF(ぴあフィルムフェスティバル)～



「新しい才能の発見と育成」を目標に1977年よりスタートしたPFFは、44年を経て、180人以上のプロの映画監督を輩出

▶第44回PFFを開催(東京・京都)



▶第4回「大島渚賞」は山崎樹一郎監督に



第1回授賞式(2020年)
でスピーチする、
故・坂本龍一審査員長

▶女性監督のPFFスカラシップ作品が、続々と海外映画祭へ



第26回スカラシップ
「すべての夜を思いだす」



◀ 清原惟監督
ベルリン映画祭/
北京国際映画祭

本日上映



第27回スカラシップ
「裸足で鳴らしてみせろ」



◀ 工藤梨穂監督
ジョグジャNETPAC
アジア映画祭

[4]2022年度の主な取り組み

～持続可能な社会に向けて ③チームスマイル～



◆「チームスマイル」の活動を終了、4つのPITで「感謝の会」を開催

「仙台PIT」
岸谷香さん他の出演による
ライブも開催(23年3月)



「釜石PIT」
布袋寅泰さんのライブを開催、
野田市長も来場(22年11月)



「いわきPIT」
倍賞千恵子さん、小六禮次郎
さんによるミニコンサートを
開催(22年10月)



「豊洲PIT」
岸谷香さんがゲストで登場、
『M』と『DIAMONDS』
を熱唱(23年3月)





ご清聴ありがとうございました

